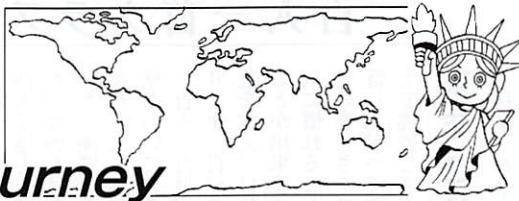


# Journey



二年

大竹 鈴木 菜用  
里奈

## 図書館だより

九里学園高等学校  
図書委員会  
印刷(株)川島印刷  
TEL 21-5511(代)

あなたは「旅」にどんなイメージを持つっていますか?一・二年生から旅に関するアンケートを取つてみたところさまざまな答えがでました。アンケート結果を参考に、旅について何か考えられる本や旅をするときに持つていつたら楽しくなる本を特集します。

メの本は林望著「イギリスはおいしい」（文春文庫）です。さまざまなおいしい料理が紹介されていて、ひとつひとつ料理の解説やレシピも載っています。丁寧に現地の様子が描写されていて旅をしているようにイギリスの空気を感じることができます。

修学旅行が好きな人にオススメの本は、宗田理著『ぼくらの修学旅行』(角川文庫)です。ある日、主人公のもとに聴覚障害を持つ佐山が転校してきます。急な転校と障害者による心の通じて一過ゆつたりとした旅をしてみたくなる一冊です。

A black and white illustration showing a girl from behind, wearing a backpack, looking towards four children in traditional Japanese clothing (yukata) standing in front of a pagoda. The children are waving their hands. There are trees and shrubs in the background.

最後に、「新しい出会いをしたい」という人にオススメの本は、「ニッポンの嵐」です。現在人気沸騰中のアイドル・嵐が、観光立国ナビゲーターとして、それぞれの興味・関心から「ものづくり」「農業」「福祉・介護」「エンターテイメント」「島の人々」をテーマに旅

海外旅行ガイドブック『珊瑚の歩き方』の夢のコラボで誕生した本です。ニューヨーク香港など有名な夜景都市はもちろん、ドバイ、ケープタウンといった読者にとって新鮮である都市の夜景が載っています。吸い込まれるような夜を楽しめる一冊です。

いろんな国に行つてみたい  
人にオススメの本は、「世界ノ  
夜景」（ダイヤモンド社）です。  
夜景をプロデュースし続ける  
夜景評論家・丸々もとお氏と  
海外旅行ガイドブック「地球

であるために旅行に参加できない  
ない佐山。佐山のため「ぼくら」  
は「自分たちだけの修学旅行」  
を計画します。私たちにとつ  
て一番ボビュラーな旅は「修  
学旅行」です。友達と一緒に  
行動し、協力して楽しみ、夜  
友達と語り合ったりしますね  
この本は、修学旅行の楽しき  
だけではなく障害者との共存  
の大切さが伝わってくる一冊  
です。

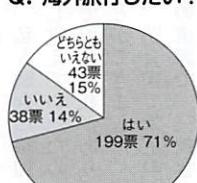
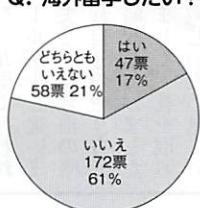
## 旅に関するアンケート集計結果 ~対象：1・2年生~

Q. 行ってみたい国  
は？

## Q 海外留学したい?

#### Q. 旅のイメージは?

## Q 海外旅行卜吉卜凶？



に出ます。選ぶテーマもメンバーの個性が上手く出ていて、嵐ファンのみならず誰もが興味をそそられる一冊です。

2011. 2 . 28

H23.1.17~18

# 百人一首クラスマッチ

念願の優勝！

三年四組 鈴木沙有理

高校最後の百人一首。三年間クラスの選手として参加し続けた私の百人一首への思いは人並みはずれたものだったと思います。今年は、絶対に優勝したいという思いから早いうちから選手を決め、練習をしました。放課後はほぼ毎日練習をし、冬休み明けからは休みの日にも学校に集まつて、練習をしました。百人一首大会当日、私のクラスは二回戦で三年生同士という激戦区でした。それでも一日目は四人で協力して二日目へと進むことが出来ました。二日目も、優勝を目指し、一つ一つの試合を集中して取り組みました。優勝した瞬間は、あまり実感はわきませんでしたが、周りの人には「おめでとう」といわれることで、少しづつ実感がわいてきました。

百人一首は、一人一人が札をしっかりと覚える必要があります。自分の覚えやすいように工夫することが大切です。札を覚え、自分で取れるようになると楽しさを感じることが出来ます。また実際に試合をすることで試合の雰囲気慣れることができます。来年はより多くの人に百人一首の楽しさを知つてもらい、今年以上にクラスマッチが盛り上がりつて欲しいです。競技に参加しない人も、友達同士で挑戦してみてはどうですか。

来年こそ！

一年七組 佐藤 愛海

私は、今年はじめて百人一首をしました。今までカルタはやつたことがありました。上の句を詠んでいるとき、下の句を探して取るという百人一首はじめでした。

はじめての百人一首では下の句が詠まれることまで札に手を出すこと

ができます、ただただ立ちつくすばかりで「クラスマッチは大丈夫だらうか?」ととても不安でした。しかし、やはり負けたくはないので毎日昼休みに練習しました。毎日練習を重ねていきました。うちに百人一首にのめりこみ、夢中になっている自分がいました。

結 果	
優 勝	3年4組
準優勝	2年6組
第3位	3年1組
第4位	1年5組



## 三校合同百人一首カルタ会の 始まり

2010.12.18(土) 米沢工業高校 於

2 - 1 五十嵐洋平



二回目の試合では、私も試合に参加し、今年は札を少し覚えていたため上の句を聞くだけで取れる札があり、昨年より楽しむことができました。

最後に、閉会式で米工の大場先生の講評で、三校合同カルタ大会の始まりを教えていただきました。始まりは、三校合同読書会で、たまたま百人一首をしたのがきっかけでした。百人一首の楽しさに、読書会と同じく百人一首も三校で楽しめればと思い、実際に行事として実現させたと聞き、當時の生徒たちはすごいと思いました。これからもずっと続いてほしい行事です。

十二月米工で三校合同百人一首カラタ会が行われました。始める前、米工の伝統文化愛好会と米商のカルタ部の競技カルタのデモンストレーションがありました。九里で行われている源平戦とルールが少し違いました。札の配置に工夫し、試合前の暗記の時間にそれぞれ自分のやり方で必死に札の位置を暗記していました。双方の気迫がすさまじく、札を取るとき、その勢いが激いため見ているこちらまで私が飛んでくるときがありました。大変貴重な試合を見せていたきました。その後のカルタ会で私は一回目の読み手を担当しました。初めてでしたが無事仕事を全うすることができ、ホッとしました。

# 本喰い虫の弁明

本を読むこと  
=ご飯を食べること



## 図書館貸出 ベスト10

(平成二十三年四月～  
平成二十三年一月二十一日まで)

一位 二年四組 深沢 和礼	52冊
二位 一年七組 佐藤 愛海	48冊
三位 一年五組 西 夏美	45冊
四位 三年三組 山田 真理	40冊
五位 一年四組 山田奈々恵	34冊
六位 一年五組 鈴木 美月	29冊
七位 二年五組 栗田亜也加	27冊
八位 二年二組 渋谷 宇範	26冊
八位 二年四組 金岡 里奈	26冊
十位 三年四組 鈴木沙有理	23冊
十位 二年二組 五十嵐洋平	23冊

私にとって本を読むことは、食事をすることと同じです。日々の生活を普通に送るために必須アイテムみたいなもので、ないと何かが足りない気がしてきます。

私の両親も本が好きで、私がほんとうに小さな頃から絵本や詩集、童話をはじめジャンルを問わず読ませてくれました。その頃の本は今も大切に本棚にしまつていて、今までたまに取り出して読んでいます。その両親がくれた本の中で私を大の本好きにしたきっかけの一冊が「若草物語」でした。私が初めて読んだ長編作品で、強く印象に残っている本の一つです。母が私を呼ぶ声も聞こえないほど夢中になって何度も何度も読みました。私の宝物です。

高校になつて私の読む本の量は減りましたが、今までより母と本についての話がはずりとあります。

私にとって本を読むことは、食事をすることと同じです。日々の生活を普通に送るために必須アイテムみたいなもので、ないと何かが足りない気がしてきます。

私の両親も本が好きで、私がほんとうに小さな頃から絵本や詩集、童話をはじめジャンルを問わず読ませてくれました。その頃の本は今も大切に本棚にしまつていて、今までたまに取り出して読んでいます。その両親がくれた本の中で私を大の本好きにしたきっかけの一冊が「若草物語」でした。私が初めて読んだ長編作品で、強く印象に残っている本の一つです。母が私を呼ぶ声も聞こえないほど夢中になって何度も何度も読みました。私の宝物です。

高校になつて私の読む本の量は減りましたが、今までより母と本についての話がはずりとあります。

二年三組 深沢 和礼

むよになりました。母が買つて読み終わつた本をお下がりで貰つたり、私が読んだ本のことによく話したりします。私はよく「図書館にだつたら監禁されてもいいかもしれない」と思つてしまひます。

このことを以前、母に話したら、笑つて「それは楽しそう」と言わされました。私はとつて本がたくさんある空間は幸せで、まるでプレゼントの箱を開ける時みたいにワクワク、ドキドキします。

ハリーのどこが好きなのかと聞かれたら「特別だけ完璧なヒーローではないところ」と答えるだろう。自分でプレゼンテーションを開ける時みたいにワクワク、ドキドキします。

本は、たくさんの新しい世界を私に見せてくれます。ご飯を食べるよう、私はこれからもたくさんの本を読むだらしく、出会うだらうと思いつつあります。

その中で自分の知識を深め、見る世界を広げることができるいい、その知識や学び感じたことを他の人のために役立たれる人になれた

時代。空飛ぶ簪や魔法の杖など魅力的なアイテムが盛りだくさん、強大な悪に立ち向かうファンタジー。スケールはだいぶ違うけれど、ハリーの立ち位置は私たちと同じだ。

仲間を思いやるばかりに、一人で抱え込んでしまつたり、うまく伝えることができなくて衝突してしまつたり…。彼を教え導くはずのダンブルドアでさえ、ハリーを想うがゆえに迷い悩む。完璧な魔法使い（人間）などいないのだ。ハリーだけでなく、登場人物すべてに自分を置き換えることができるし、一緒に成長できる。

敬愛するダンブルドアやシリウス・ブラックを失つたときの悲しみはハリーにだつて引けをとらない。私にとっていつまでも終わらないでいてほしい物語。最終巻が手つかずなのは、読めば終わってしまうから。もうしばらくこのままにしておくことにしよう。

## 私の好きな主人公

ハリー・ポッターシリーズの

### ハリー・ポッター

一年七組 鈴木 悠花

読みたくて読みたくて買ってもらつたのに、ずっと読めない本がある。

それは、知らない人がい

ないので、と思うほどの大ヒットファンタジー、ハリ

ー・ポッターシリーズの最

終巻「ハリー・ポッターと死の秘宝」だ。ハリボタの第一巻を手にしてから私の視力は急激に悪くなり、ほんとうに惹きこまれるよう夢中で読んだ。

ハリーのどこが好きなのかと聞かれたら「特別だけ完璧なヒーローではないところ」と答えるだろう。自分でプレゼンテーションを開ける時みたいにワクワク、ドキドキします。

本は、たくさんの新しい世

界を私に見せてくれます。ご

飯を食べるよう、私はこれ

からもたくさんのが本を読むだ

らうし、出会いだらうと思いつつあります。

その中で自分の知識を

深め、見る世界を広げること

ができるいい、その知識や

学び感じたことを他の人のために役立たれる人になれた



## 読書の楽しみ



苦手だった読書

荒井 雄介 先生(商業)

私は 読書が苦手です。本

で眠くなってしまう。そんな私でもこの一年間で五冊は読むことが出来ました。我ながらすごい進歩だと思います。

した。高校では縁があつて卓球の有名校に進学することが出来ました。まさに大幸でした。

た。しかし私が入学したのは、全日制のコースでした。部活動に入れなかつた私は、アルバイトとサークル活動という普通の大学生活を送ることになりました。

図書委員研修会 12月4日(土) 九里学園高校 於

## 百人一首の楽しさを学ぶ

1 - 5 土谷 育未

見る側ではなく、やる側で楽しんでみてください。

感じました。また、私の読み方にもルールがあり、ことも知りました。どう読まれているか分かると、札を取るとき役立ちます。他に、坊主めくりというゲームをしましたが、このゲームはとても簡単で、すぐに楽しむことができる遊びでした。

た。その本は、大学に入学した主人公が三年生になつたときにもつと違う学校生活があつたのではないか?と考えるところから始まります。そして、大学一年生の入学時にタイムスリップし違う部活を

ようになりました。(元々答えるの出せないことを考えていました)は自分でもわかつていて、たので深くは追求しないようにしていました。しかし、私の頭の中の「もやもや」は一向に晴れることはありませんでした。

最近一冊の本と出会いまし

書  
井 雄介 先生(商業)  
選んでいたらどうなるか?と  
いうパラレルワールドの世界  
が書かれていました。まさに  
私の悩みに答えてくれた内容  
でした。その本なら何十ペー

との出会いによって大分改善されました。今では、本屋に行つて自分が読めそうな本を探してくるようになりました。そうやって買った本は毎日かばんの中に入っています。今後もこの本なら読める!といふ本を発見して読んでいきたく思っています。

私は二年生の後半から図書委員長になりました。先輩が卒業して新体制となり、また四十人近く人数がいたことで私に務まる仕事なのか、とても不安でした。最初の大きな仕事は九里祭でした。先輩方は毎年すばらしい出展をしていましたこともあり、今年も頑張らなければと自分を奮い立たせて仕事をしました。その年は『水木しげると日本の妖怪』という展示テーマで様々な妖怪を調べ、今まで知らなかつた興味深いことがたくさんわかりました。また、まとめに

生三組 山田真理 入る上で三年生の委員や後輩副委員長に様々なことをサポートしていただきました。私が部活をしている時に、作業の穴を埋めてもらうこともありました。みんなの協力があり、無事に九里祭を成功させることができました。

図書委員会に入つて、私は様々な人と出会い、たくさんの貴重な体験をさせてもらいました。人との関わりや、色々な活動をすることの楽しさを感じることができ、とても良い経験になつたと思います。今まで支えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。

編集後記

今回、私は一面の「旅」の特集についての原稿をまとめました。1・2年生にアンケートを取って、おすすめの1冊を探して原稿を書きました。さまざまな編集作業の中、一人一人が協力し合うことで無事完成させることができました。来年度もより一層頑張ります。

(2年4組 鈴木 里奈)

活動をふりかえつて

三年三組 山田真理